





# SRR/SSSシリーズ 取扱説明書

◆安全に関する重要な内容です。  
 ご使用のまえに本取扱説明書を必ずお読みください。  
 本取扱説明書は必ず保管してください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。  
 注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。

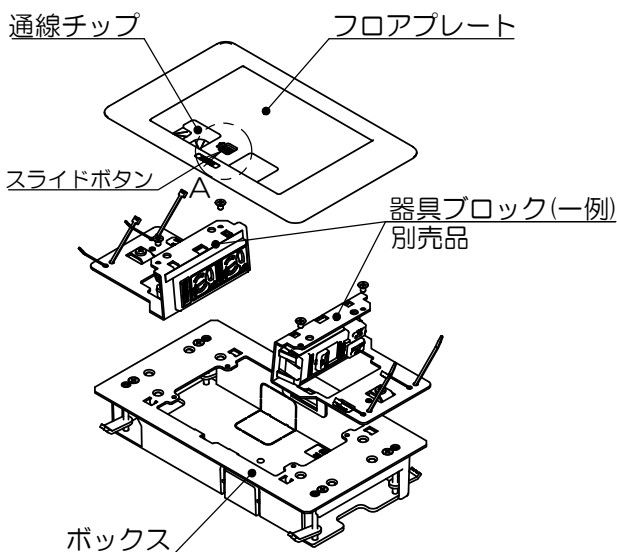
 警告	
 禁止	◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆適合プラグ以外使用しないでください。 ⇒火災・感電の原因となります。
	◆定格電圧・定格電流を守ってご使用ください。 ⇒焼損・火災の原因となります。
	◆重いものを落としたり、ぶつけたり等 強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
	◆ぬれた手でプラグの抜き差しを 行なわないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
 必ず守る	◆プラグはコンセントへ確実に押し込んでください。 ⇒火災・感電・地絡の原因となります。
	◆プラグを抜く際はプラグを持ち、コンセント面 に対して垂直に抜き、コードを引っ張らないで ください。 ⇒コンセントの破損・脱落の原因となります。
	◆コンセントが破損した場合は必ず使用を 中止してください。 ⇒火災・感電の原因となります。

 注意	
 禁止	◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
	◆抜止めコンセントの場合、プラグロック状態では 絶対に引っ張らないでください。 ⇒破損の原因となります。
 必ず守る	◆乾燥した場所でご使用ください。 ⇒機能不備の原因となります。
	◆プレートフタで手をはさまないように 注意してください。 ⇒けがの原因となります。

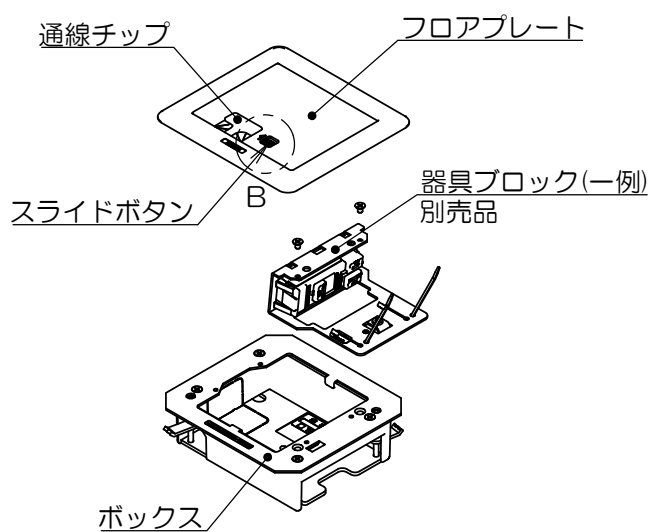
保守・点検について	
 必ず守る	◆本製品及び使用プラグは定期的に点検を行ない、 乾いた布などでホコリを取り除いてください。 ⇒焼損・火災の及びプレートの開閉不良の 原因となります。
	◆プレートの表面の汚れは、 固く絞った濡れ雑巾等で拭き取ってください。
	◆本製品が破損・故障した場合は、 速やかに施工工事店へ連絡してください。

## ◆部品構成と名称

### SRRシリーズ



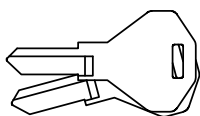
### SSSシリーズ



鍵付きの場合

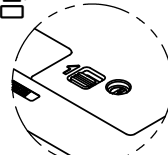


A部詳細図



添付キー(2本)

鍵付きの場合



B部詳細図

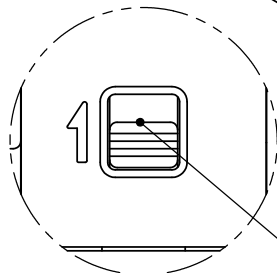
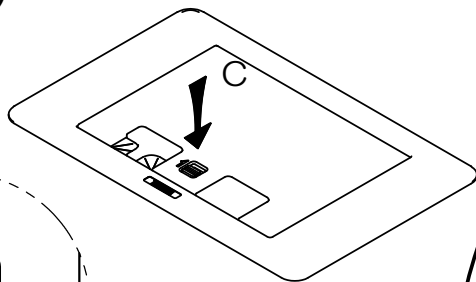


添付キー(1本)

# ご使用方法

## 1 プレートフタを開ける

標準タイプ

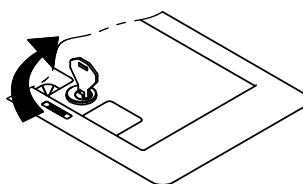


スライドボタンを矢印の方向にスライドさせフタをあけてください。

ドライバー等で強く押さないでください。破損・機能不備の原因になります。

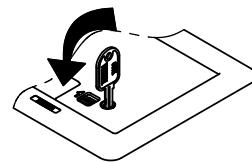
矢視C  
スライドボタン詳細図

SRRシリーズ  
鍵付きタイプ



1. 鍵穴に合わせて添付のキーを挿し込みます。
2. キーを右に90°回し解錠してください。

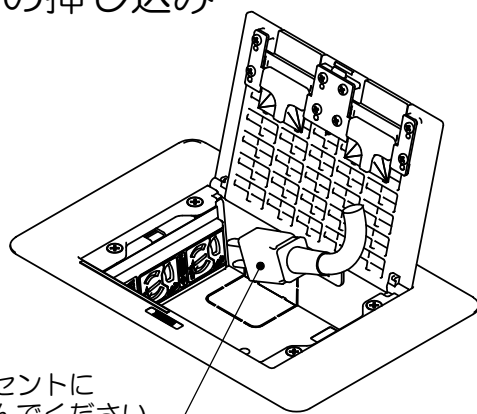
SSSシリーズ  
鍵付きタイプ



1. 鍵穴に合わせて添付のキーを挿し込みます。
  2. キーを左に360°回し解錠してください。
- ※キーは先端6mm程度しか入りませんが問題ありません。

※鍵付き製品の場合、塵、埃により施錠動作が悪くなる場合があります。定期的に鍵穴のメンテナンスを行ってください。動作改善のために潤滑スプレーをご使用になる際は、鍵穴専用のフッ素系潤滑スプレー以外ご使用にならないでください。

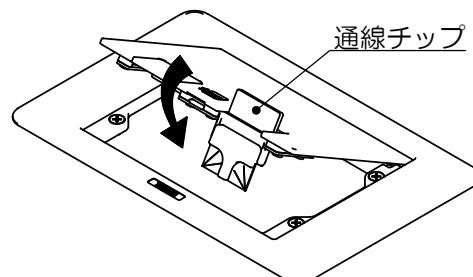
## 2 プラグの挿し込み



プラグをコンセントに確実に挿し込んでください。

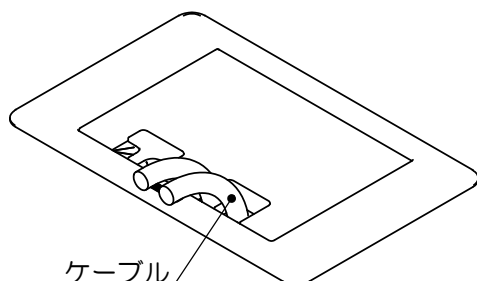
## 3 通線チップを反転させる

ケーブルの引き出し口となる通線チップを引き出し反転させ、はめ込んでください。



## 4 プレートフタを閉める

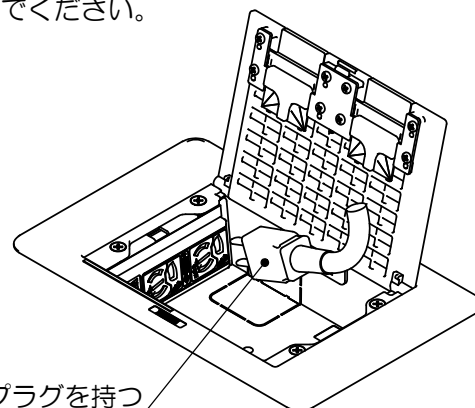
ケーブルを通線チップの切欠き部分に通し、プレートフタを“パチン”と鳴るまで、完全に閉めてください。



ケーブル

## 5 プラグを抜く時の注意点

プラグをコンセント面に対して垂直に抜き、コードは引っ張らないでください。



プラグを持つ

■ お問い合わせ先

**株式会社TERADA**

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361